

発刊に当たって

公益社団法人新潟県農林公社 代表理事

岡村均

このたび、フオレストリーマガジンの第四刊を新潟県農林公社で発行することとなりました。

当公社では、グリーンワークセンターで農林業に関し、無料で職業紹介所を行っていますが、特に林業の就業に関しては、平成9年に「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき新潟県林業労働力確保支援センターを設立し、新たに林業に就業しようとする方に林業の雇用状況等県内の林業に関する情報提供を行うとともに、雇用管理の改善や事業の合理化に取り組む林業事業主の方の支援等を行っています。

さて本県の森林は、面積が86万haと全国6番目の規模を有し、県土の保全や水資源の涵養、二酸化炭素の固定等多様な機能を発揮しているところですが、年間の素材生産量は約14万³m(平成26年度と全国34番目の生産量で林業生産活動は低位な状況にあります)。

このような中、本年春には新潟東港において木質バイオマス発電所が稼働し、多くの木材が必要となってきます。これまで手が入れられず、低質となった木材や、伐採しても商品とならず放置してきた端材が新たにエネルギー源として活用が可能になることは、素材生産活動を活性化させる大きな要因となるものと考えています。また、ヨーロッパにおける中高層建築として注目を集めているCLT(直行集成板)等の新たな木材利用への取り組みや、2020年東京オリンピック、パラリンピックでの木材利用といった国レベルの大きな取り組みを通じて、ますます木材需要が高まってくるものと思っています。

当公社では昭和48年度から平成16年度までの32年間に渡り、約1万haの森林を分収造林として造成してきており、今後は木材の供給基地として重要な役割を担って行かなければならないと考えています。

このような状況から、「緑の担い手」の確保と技術者の養成は喫緊の課題となっているところで、この雑誌を手に取りられ、少しでも森林・林業に興味を持たれましたら、ぜひ関係事業体や当公社の支援センターにお問い合わせください。お待ちしております。

目次

林業のキホン作業	p. 1
林業の安全対策	p. 2
林業の七つ道具	p. 3
【林業事業体レポート】	
●株式会社戸田組	p. 4
●柏崎地域森林組合	p. 8
●株式会社中嶋木材	p. 12
●ゆきぐに森林組合	p. 16
現場で活躍！高性能林業機械	
〈山仕事インタビュー〉	p. 20
森林施業プランナーのお仕事とは？	p. 21
林業の担い手に対する支援事業	p. 22
林業事業体に対する支援について	p. 25